

# みなしご通信



## 赤ちゃん猿「ひろし」 来たる

今年の7月宮崎延岡のTNR仲間の平野さんが「ニホンザルの赤ちゃんを保護したんだけどどうしたらいいですか？」と聞いてきました。交通事故で死んでいたお母さん猿にべったりくっついていたそうで。そして送られて来た写真におったまげました。恐ろしいぐらい小さな赤ちゃん猿『誰も育て方がわからんね』あきらを保護してから私は壁にぶち当たるときに旭山動物園・元園長の小菅先生や京都大学霊長学研究所の先生たちからいろいろと教わりながらあきら&よしこ&ひさこを育ててきました。

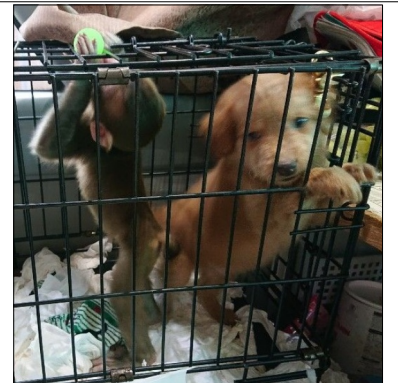
平野さんは2歳児(人間)の母親。赤ちゃん猿を育てるのは厳しいです。私は引き取る準備を始めました。なんの準備ってヒゲオヤジの说得ですよ。これがかなり厄介でこのヒゲオヤジは《簡単に限界を作るタイプ》の無いタイプ《難しければ難しいだけやる気が起き嬉々として引き取るのです。私はいろいろやったり言ったりしてみましたが「これ以上猿は引き取らんけえ」のヒゲオヤジはガンとして落ちず8月の九州TNRのとき会場まで赤ちゃん猿を連れて来てもらい実際に抱かせてみんなで一斉にたたみ掛けよう！と計画しました。そして当日。どんなにみんなが「かわいい！」「かわいい！」とお祭り騒ぎをしようともガンとして見ようともしない頑固なヒゲオヤジ。けれど《痩せがまん》には必ず限界がきます。ヒゲオヤジが振り向きまじ。



すかさず私はヒゲオヤジの肩に赤ちゃん猿を乗せました。ヒゲオヤジ瞬間で落ちました(笑) Ⅱ写真。名前は《ひろし》飼育を猛反対していたヒゲオヤジが命名しました(笑) 体重400gで保護。真正正銘の赤ちゃん猿です。もちろん離乳前でミルクです。引き取ったときは1日6回、1回40ccをシリンジで飲んでいただけで手間だったので哺乳瓶で飲めるように練習しました。この可愛さにみんなメロメロ(笑) 仏教では仏さまは私たちに《越えられる試験しか与えない》と言われていきます。仏徒の私は自分にとってはどのようなも

生きています。ニホンザルを育てること

【犬猿の仲むつまじく】あきらたちからは「別の群れ扱い」されているひろし。成長しても独りだろろうからお友だちを紹介しよう！ということ。仔犬まざるをひろしと一緒に育てることにしました。かわいすぎて見



は許しません。1日に必要な運動量もハンパないです。※犬のお散歩の比ではない。腕をつかまれたらアザ

てて飽きんです。もちろん私のそばからは離れない2匹なので運行中は私の座席の隣にケージを置いてその中で遊ばせてます。精神的には猿のひろしの方が優位ですが肉体的には犬のまさるの方が優位でお互いがそのことをわかってんだかわかってないんだか。仔犬の細い歯で咬まれたら痛いみたいで猿のひろしはぶら下がって避難。するとまさるが寂しそうにし、ごめんごめんひろしがまさるにチュウします。なんとも奇妙なコンビです(笑)。

になるぐらいの腕力があり咬まれたら一瞬で人間の皮膚なんてちぎれます。病気になっても診れる獣医師はごく少ないです。育てるには体力も要りますし知識も要ります。私は今回、本物の赤ちゃん猿のひろしを育てることになり、知恵をしつかりつけて、いつかニホンザルと人間が共生できる方法をあみだしてみたいと思います。

# 市の施設でTNR



今回の北本TNRは埼玉県内では《初の》市の公共施設を使つての記念すべきTNRです。これほどのも意味があるのでそれに至るまでに多くの方々の尽力があつたのだということをおもいます。最初のきっかけはオバチャン組のチームMK（みなしご鴻巣）が去年、企画した《みなしご庵IN北本》そこに北本市環境課の春山さんが来て市の困りごと相談的な勉強会の宣伝を自信満々にやったことから全ては始まります。プロから学ぶと書いてあり『講師としてプロが来るのか？』と思つて見たら埼玉県動物指導センター南支所

の職員と書いてあり『誰がプロや？埼玉県動物指導センターで殺処分している人間のどこがプロや？』となり『問題を解決しようとしてもしないで犬や猫を殺してハイおしまい！みたいな仕事をしとるヤツを私はプロとは呼ばん！』「なら中谷さん講演してくださいよ」『ええよ！張り切つてやりませう』。そんなこんなで北本市の環境課の春山さんと仲良くなつて、今年1月にチームMKが実行した北本TNRに春山さんと若い職員は勉強がてら丸1日お手伝いしてくれました。その日は北本市の日高市議と高橋市議、保角市議、当時は市議だつた三宮現市長が視察に来られその5カ月後の6月のまたまたチームMK主催の《みなしご庵IN鴻巣》にも日高市議と高橋市議が参加されとにかく熱心に質問され、その時に日高議員に『次こそ是非市の施設でTNRをやらせてください』とお願いしたらホンマに実現したのです。

## 見送るのも仕事

昨日は28日、お不動様の縁日。ウチの月例供養会でした。お勤めに来てくださった健空阿闍梨に今月も今月とて亡くなつた子たちの話をしていたら「そりゃね、中谷さんの気持ちはよくわかるけど何千匹もお母さんになるってことは先立つ子を見送るのもひとつ大きな仕事ですからね」。この俗社会では後輩にあたる健空阿闍梨にそんな風な諭され、私もわかっちゃるおるのですがまあなんと云うか見送る活動だけではどうも慣れんもんでね。

普段から私は対外的には『うちの子が明日死んでも後悔せんよ』に私は今日おいしいもんを食べさせる』なんて、さもありませんが落鳥し

しかも会場は春山さんと初めて対峙した（笑）北本市野外活動センター多目的ホール。ボランティアの皆さまありがとうございます。また一緒にやりましょう♪

た小鳥が死んでも、生まれればかりの子猫が死んでも、お年寄りの犬が死んでも、それが突然だったとしても長いこと闘病した後だったとしても、私にとっては《死》を受け入れることは難しい課題で、そのために私は仏道に入り、そのために自宅にお堂を設け、そのために毎月供養会をし、そのために2時間ばかり腹の底から読経をしてそれでもなおこんな感じ。もしこの供養会がなかったら私はどうなつとつたんじやろか、今みたいに死にゆくことがわかつている子を積極的に引き取つて看取ろうと思えたんじやろか。これは私が死んでから出てくる答えかも知れんですね。

## 12月の予定

- 2日||広島市視察▼10・
- 11日||佐賀TNR▼12
- 日||熊本TNR▼13日||
- 水俣TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人（特定非営利活動法人）**犬猫みなしご救援隊**  
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊  
〒731-0234  
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ  
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。  
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。